

大野北地区「高齢者向けバス乗り方教室」アンケート調査結果

1 調査概要

(1) 調査概要

高齢者向けに「バスの乗り方教室」を開催し、その後、アンケートを実施した。以下に、調査の概要を示す。

表 調査概要

目的	<ul style="list-style-type: none">・乗降方法の周知・運賃の支払い方法の周知・割引制度の周知（かなちゃん手形）・交通安全上の注意点の周知・大野北地区コミュニティバス実証運行開始の周知
対象者	「第22回交通安全ゲートボール大会」参加者
調査日時	平成25年11月6日（水）午前9:00～午後2:00
調査方法	<ul style="list-style-type: none">・1教室あたり20～25分（計6回）・ゲートボール大会の休憩時間中に実施。（配布・回収）・せせらぎ号1台を用意し、教材に沿って説明し、乗降方法や支払方法を体験してもらう。
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・乗り方教室について・路線バスの利用状況・大野北地区コミュニティバスの利用意向

(2) 回収状況

アンケート調査では、参加者全員（76人）から回答をいただいた。

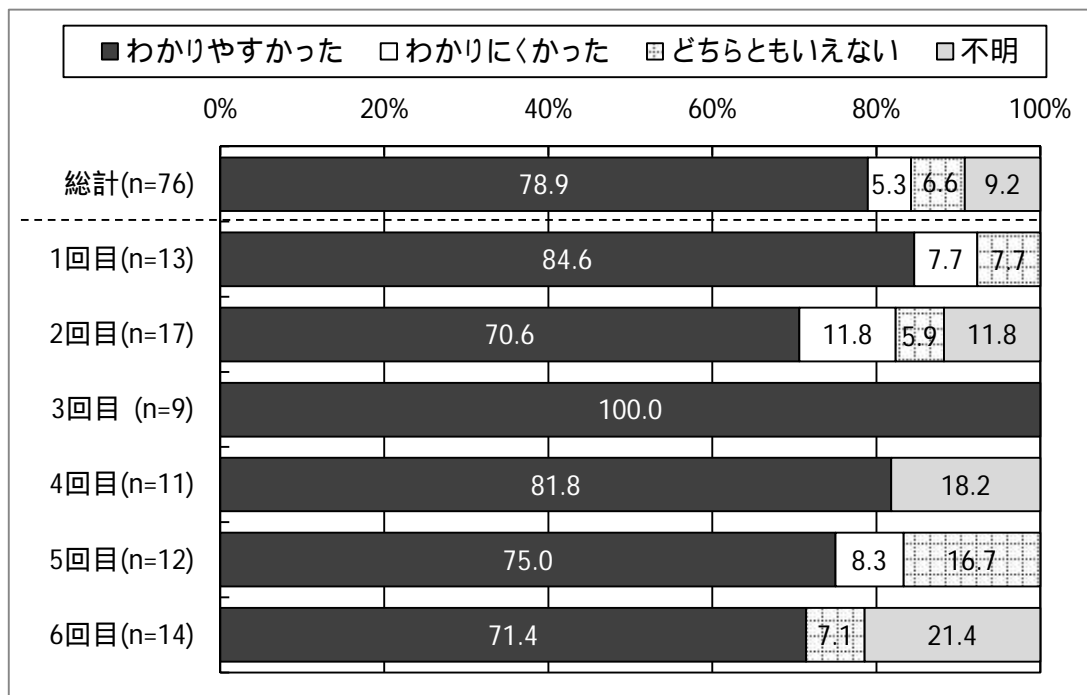
表 アンケート回収状況

教室	回答者数
1回目	13人
2回目	17人
3回目	9人
4回目	11人
5回目	12人
6回目	14人
計	76人

2 アンケート結果

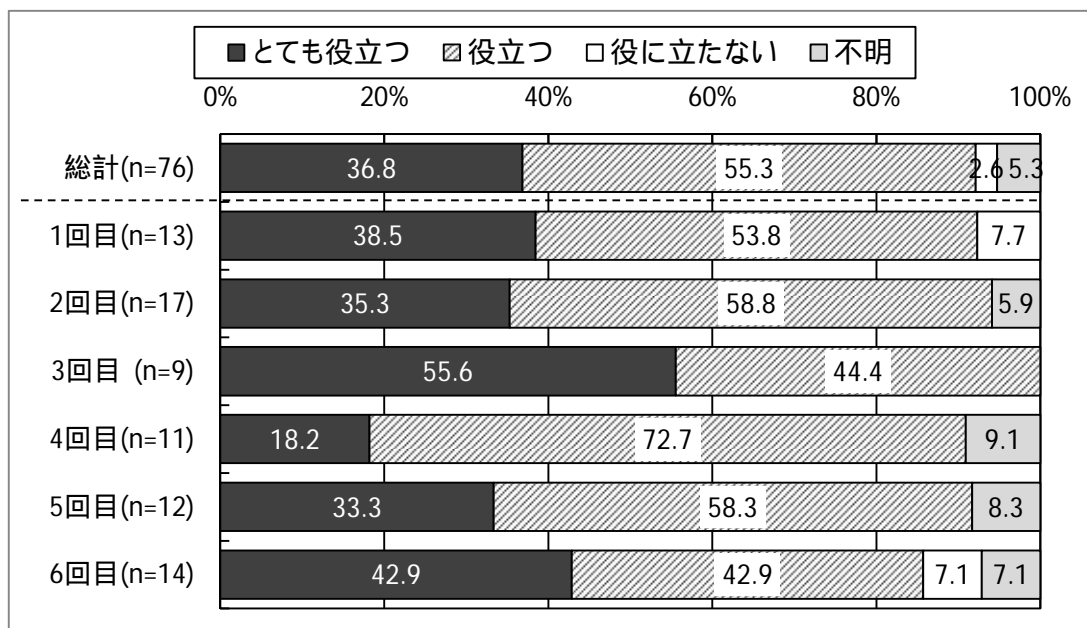
(1)「乗り方教室」の説明について

・「乗り方教室」の説明については、「わかりやすかった」が78.9%となっている。



(2)「乗り方教室」について

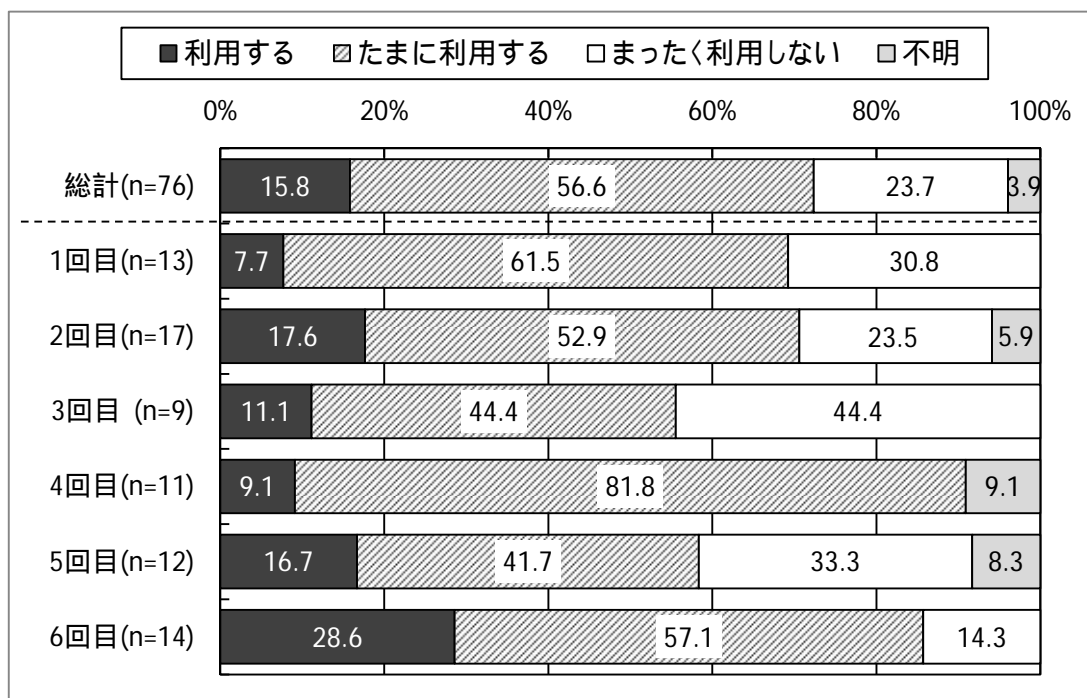
・「乗り方教室」については、「とても役立つ」が36.8%、「役立つ」が55.3%と、9割が役立つと回答している。



(3) 路線バスの利用状況

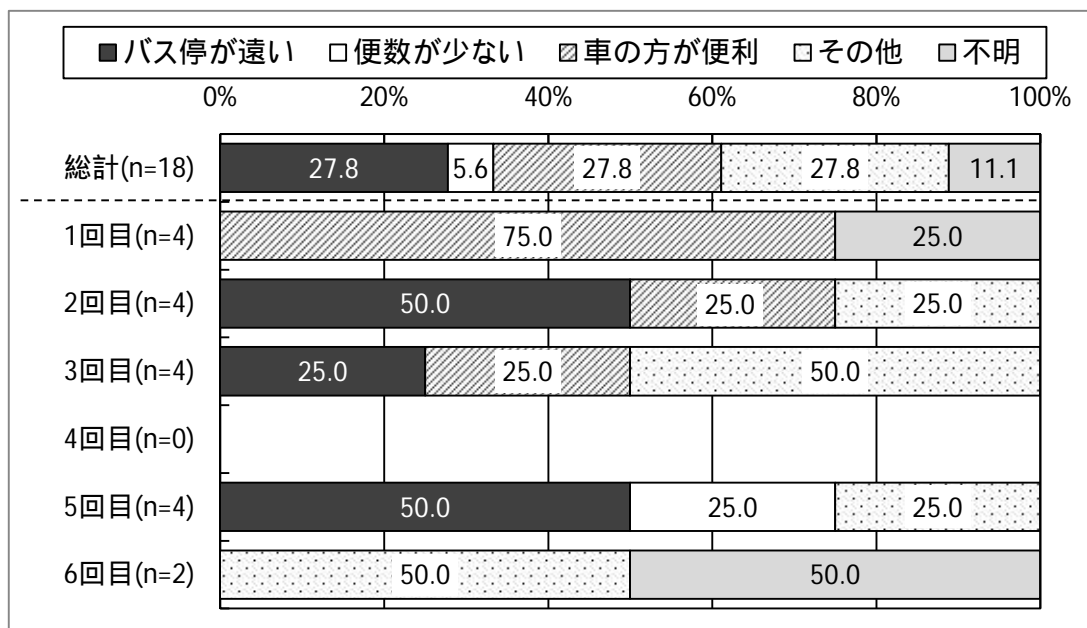
路線バスの利用状況

- ・路線バスの利用状況は、「利用する」が15.8%、「たまに利用する」が56.6%となっており、7割が利用している。



路線バスを利用しない理由

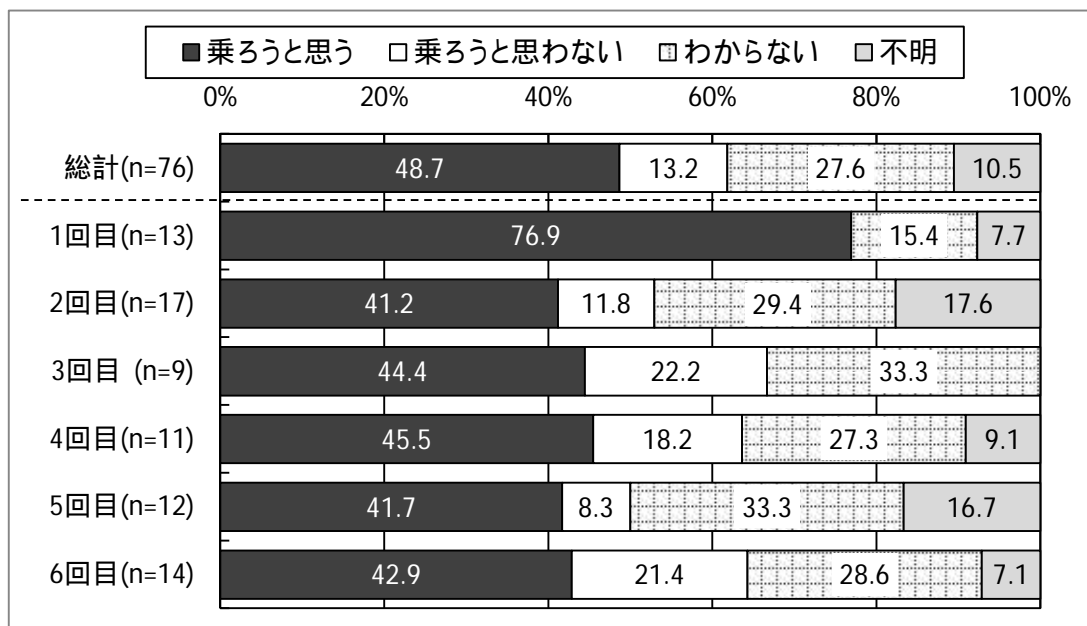
- ・路線バスを「まったく利用しない」と回答した人の理由は、「バス停が遠い」「車の方が便利」「その他」がそれぞれ27.8%となっている。
- ・「その他」の意見では、「バイクを利用する」1人、「徒歩」2人となっている。



(4) 大野北地区のコミュニティバスについて

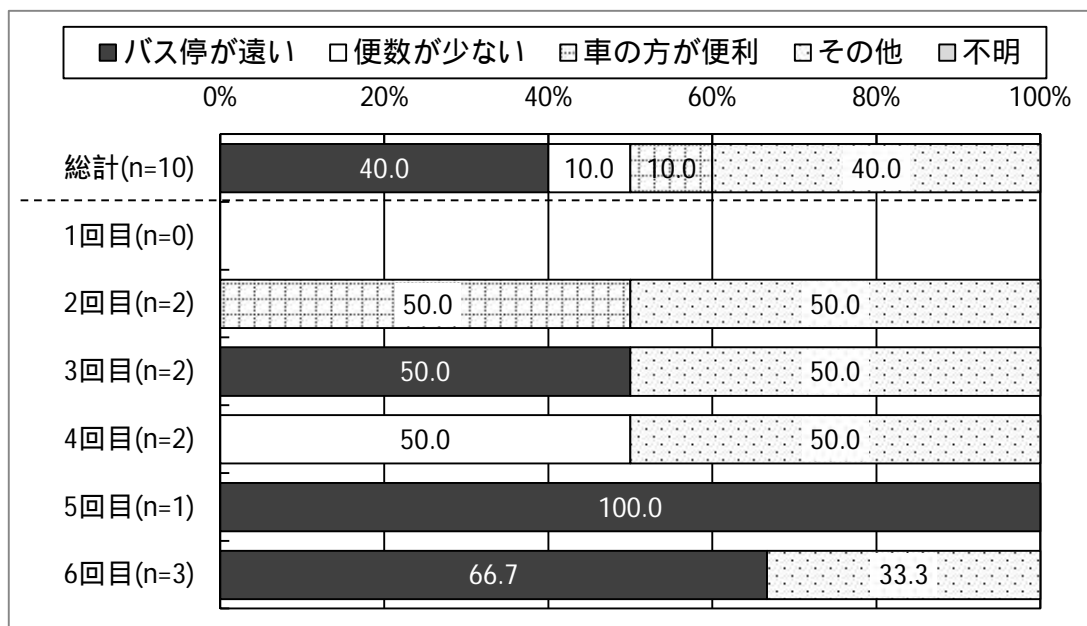
コミュニティバスの利用意向

- ・大野北地区のコミュニティバスについて、「乗ろうと思う」が48.7%と最も多く、次いで「わからない」の27.6%となっている。



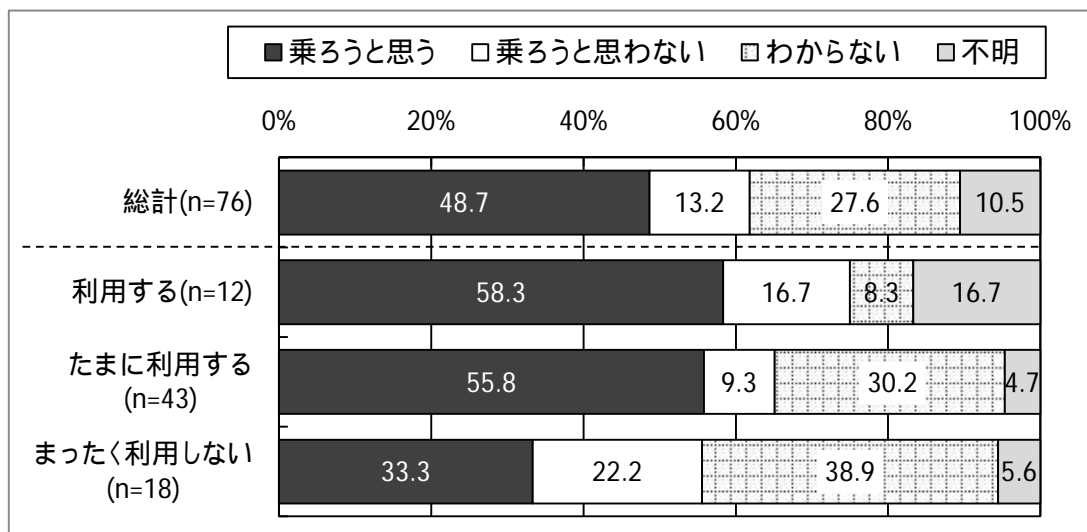
コミュニティバスを乗ろうと思わない理由

- ・コミュニティバスを「乗ろうと思わない」と回答した人の理由は、「バス停が遠い」「その他」がそれぞれ40.0%となっている。
- ・「その他」の意見では、「運行経路が家から遠い」3人、「商業施設、病院が近く利用する必要が無い」1人となっている。



路線バスの利用状況別のコミュニティバス利用意向

- ・路線バスの利用状況別のコミュニティバスの利用意向は、路線バスを利用している人（「利用する」「たまに利用する」と回答した人）は、コミュニティバスを「乗ろうと思う」と回答した人のうち半数を超えている。



路線バスの利用状況での「不明」3人を除いているため、総計と各回答の合計値は一致しない。

(5) 乗り方教室の感想、気付いた点（自由意見）

- ・自由意見を以下に示す。

教室	意見
1回目参加者	老人にとって良いことだと思います。
2回目参加者	路線が多くなければ利用できない。
3回目参加者	今後も継続して宣伝して下さい。
3回目参加者	説明を受けるのに10人程度で大変良かったです。
3回目参加者	障害者割引について分からない。
5回目参加者	利用者が多くなりますように。
6回目参加者	かなちゃん手形の期間が短い？
6回目参加者	コミュニティバスはこれから大変重要となってきます。全地域に広がるようお願いします。
6回目参加者	運賃の支払い方法が参考になった。
6回目参加者	説明（バスの乗り方）の「ですね」が多く聞きづらかった。